本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

MA9801-002502A

N

CASIO

P

G-COOL
TELEPHONE・SCHEDULE・Vital stats./ID

1814

取扱説明書

1814 G-SHOCK

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

◆本機の特長◆

●TELEPHONE（テレフォン）メモリー
大切な仲間の名前と連絡先（電話番号など）を最大100件まで記憶できます。

●SCHEDULE（スケジュール）メモリー
行動予定（スケジュール）とその実行日時を最大100件まで記憶できます。

※TELEPHONEとSCHEDULEの両方を合わせて100件までです。

●Vital stats./ID（バイタルスタッツ アイディー）メモリー
自分の名前、血液型、生年月日、免許証、パスポートなど、身分を証明する大切なデータを記憶できます。

●ELオートライト
暗いところでも時計を傾けると表示を明るく照らします。

●アラーム・時報報知
任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時に時報を鳴らすことができます。

●ストップウオッチ
1/100秒単位で最大23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。





電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

⚠注意

データ控を作ってください

記憶させた内容は、ノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理により、記憶内容が消えることがあります。



■データの保護について

●本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー(EEPROM)を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。
- ・本体を分解したとき
- ・故障・修理のとき
- ・極度の静電気や衝撃を与えたとき
- ・極端な外的環境下(特に低温下)で使用したとき
- ・電池交換の方法をまちがえたとき

●電池の寿命が近づくと、"BATTERY"マークが点滅し、以下の操作ができなくなります。
- ・アラーム等の電子音は鳴りません。
- ・バックライトは発光しません。
- ・TELEPHONE、SCHEDULE、Vital stats./IDモードの一切の操作ができません。
- ・電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」することがあります。

●"BATTERY"マークが点滅したら、早めに電池交換を行なってください。なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、データは必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに控えておく」などして控えを残しておいてください。

※付属の備忘録を利用すると便利です。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

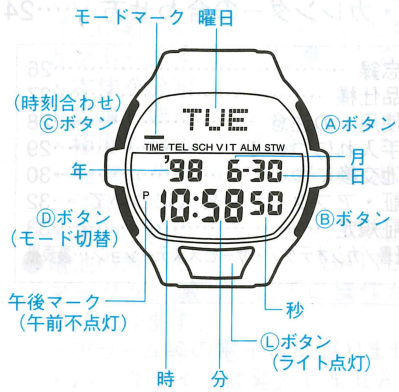
目　次

安全上のご注意……表紙裏面
データの保護について ……4
操作のしくみと表示の見方 ……6
表示照明用ELバックライトにいて ……8
メモリーについて ……10
名前部、数字部の入力のしかた 11
TELEPHONEモードの使い方 ……14
SCHEDULEモードの使い方 ……16
Vital stats./IDモードの使い方……18
アラーム・時報の使い方 ……21
ストップウオッチの使い方 ……23
時刻・カレンダーの合わせ方 ……24

備忘録 ……26
製品仕様 ……27
ご使用上の注意 ……28
お手入れについて ……29
電池交換について ……30

操作のしくみと表示の見方　Ⓓボタンを押すごとにモードが切り替わります。

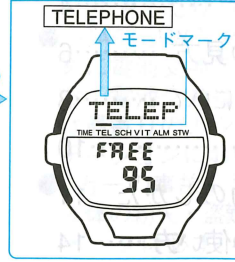
時刻・カレンダーモード



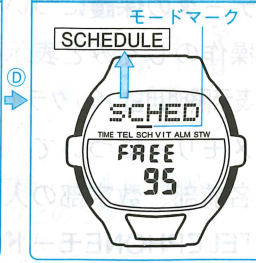
★曜日の見方

SUN	日	MON	月	TUE	火	WED	水
THU	木	FRI	金	SAT	土		

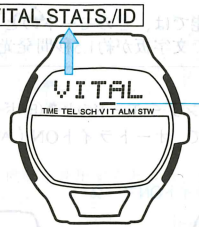
TELEPHONE モード



SCHEDULEモード



Vital stats./ID モード



アラームモード



ストップウオッチモード



各機能を使用したあとにⒹボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。また、各モードで（ストップウオッチモードを除く）何もボタン操作をしないと、2～3分後自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では各モードのタイトルを表示し続けます。（この間、ライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。）

●デモ表示の解除

Ⓓボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

●デモ表示の設定

解除するときと同様にⒹボタンを約3秒間押し続けます。



表示照明用 ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる～手動発光～

Ⓛボタンを押します



→Ⓛボタンを押すと約1.5秒間文字板が発光します。

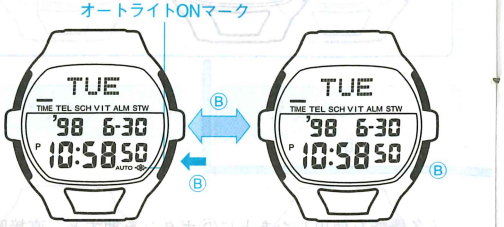
※文字板発光中にⓁボタンを押すと、その時点から引き続き発光します。ただし、Ⓛボタンを１～２分押し続けるとその時点で発光が消えます。
※オートライトOFFのときもⓁボタンを押すと発光します。

■時計を傾けて発光させる～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で、時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

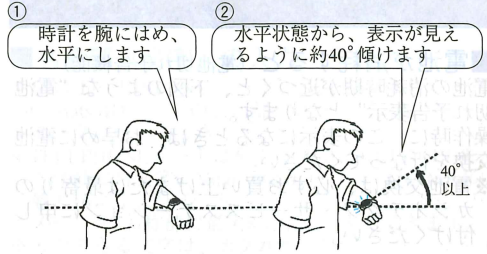
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約1.5秒間発光します。

準備　時刻・カレンダーモードのときⒷボタンを１～２秒間押し続けて、オートライトON（AUTO 点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑボタンを１～２秒間押し続けるとオートライトOFF（AUTO 不点灯）に戻ります。
※オートライトON/OFF設定は、時刻・カレンダーモードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。
※文字板の左右（３時－９時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL発光についてのご注意〉

●直射日光下では発光が見えにくくなります。
●発光中にⓁボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

●オートライトが作動するのは、“AUTO ”を点灯させてから約２時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“AUTO ”が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓑボタンを１～２秒間押して“AUTO ”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（27ページ「製品仕様」参照）

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。

●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約1.5秒間のみとなります。

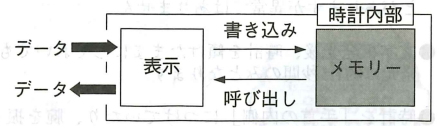
●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。**
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

メモリーについて

■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。
本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



■保持されるデータ

以下のデータは電池が消耗しても消去されません。

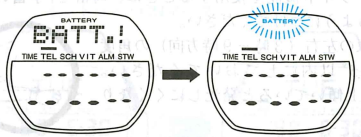
TELEPHONE … 名前、電話番号
SCHEDULE … メッセージ、月・日・時・分
Vital stats./ID … 名前、生年月日、血液型、クレジット、ライセンス等

※各モードのデータについて詳しくは各機能の項目をご覧ください。

■電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、下図のような“電池切れ予告表示”となります。
操作時に、この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。
※電池交換は、必ずお買い上げまたは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに申し付けください。

例）TELEPHONEのとき



（空ページ表示）

※電池切れ予告表示後は、各モードでの空ページ表示となります。

電池切れ予告中は、TELEPHONE、SCHEDULE、Vital stats./IDでの操作はできなくなります。また、アラームなどの報知音、ライト点灯は行ないません。

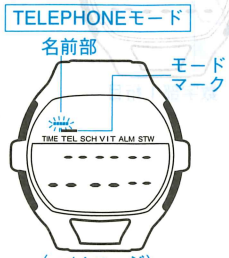
名前部、数字部の入力のしかた

■名前部（文字）の入力

本機はTELEPHONEモード、SCHEDULEモード、Vital stats./IDモードの名前部やメッセージ部、タイトル部に文字が入力できます。
※TELEPHONEモードは最大８文字、SCHEDULEモードは最大11文字、Vital stats./IDモードはNAME部に最大16文字、クレジット・ライセンス・パスポート・フリーメモリーの名称部に最大8文字まで入力できます。
※入力できる文字は、カタカナ（ア～ン、ァ・ッ・ャなどの小文字、゛、゜）、アルファベット（A～Z）、数字（０～９）、記号（－、．、／、（）、空白）です。

●名前部入力時の表示

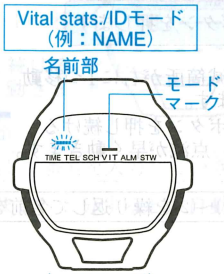
入力表示にするには、各モードの「データ入力」をご覧ください。



（→14ページ）



（→16ページ）



（→18ページ）

〈ご注意とお願い〉
本機は、電話番号、パスポート、免許証、クレジットカードなどの大切な番号を登録／呼び出しすることができます。ただし、これらの番号を登録した時計を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用される恐れがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。
なお、本機にクレジットカードなどの番号を登録する際は、他人にわからない形で入力することをおすすめします。
万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■名前入力のしかた

(1) 各モードの名前入力表示のとき、

Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

→点滅箇所に文字が表示されますので、入れたい文字を選びます。
Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。
※カタカナは押し続けるとア段（ア⇔カ⇔サ…）で早送りができます。



(例：TELEPHONEモードのとき)

(2) 文字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

→点滅箇所が右に1つ移動します。
Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。



上記(1)～(2)を繰り返して名前を入力していきます。

※文字が点滅したまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。
※TELEPHONEモード（８文字）、SCHEDULEモード（11文字）、Vital stats./IDモード（NAMEは16文字、その他は８文字）のときは、すべて入力すると自動的に点滅箇所が数字部に移動しますので、引き続き数字部の入力ができます。
入力した文字が７文字／10文字／15文字以下のときは、名前入力後、Ⓓボタンを何回か押して点滅箇所を数字部に移動させます。



数字部１桁目

■番号部（数字）の入力

本機はTELEPHONEモードの電話番号部とVital stats./IDモードの番号部に12桁まで、SCHEDULEモードに月・日・時・分の数字を入力できます。

●番号入力時の表示

入力表示にするには、各モードでの「データ入力」をご覧ください。

例：TELEPHONEモード



電話番号部

■番号入力のしかた

(1) 各モードの番号入力表示のとき、

Ⓑまたは Ⓐボタンを押します

→点滅箇所に数字が表示されますので、入れたい数字を選びます。
Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。



(例：TELEPHONEモードのとき)

(2) 数字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

→点滅箇所が右に１つ移動します。
Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。

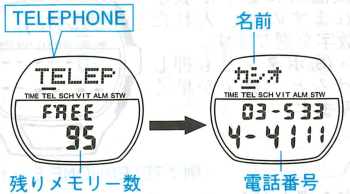


上記(1)～(2)を繰り返して番号を入力していきます。

※数字が点滅したまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

TELEPHONEモードの使い方

Ⓓボタンを押してTELEPHONEモードにします。TELEPHONEモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、前回最後に選んだデータを表示します。



※“TELEPHONE”がスクロール中にⒶ・Ⓑ・Ⓒボタンのいずれかを押すと、すぐに名前と電話番号を表示します。

■TELEPHONEモードとは

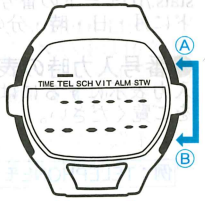
名前と**電話番号**を同時に記憶できる機能です。
本機は、名前８文字、電話番号12桁を最大100件*まで記憶できます。
*記憶件数は、「SCHEDULEモード」のデータと合わせて最大100件となります。(例えば「SCHEDULEモード」でデータを30件記憶しているときは、TELEPHONEのデータは最大70件まで記憶できます)

データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときにたいへん便利です。
(15ページ「データの呼び出し」)

■データ入力

(1) 空ページを探す

Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します



(空ページ)

※空ページがないときは、名前部に“FULL”と表示されます。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。

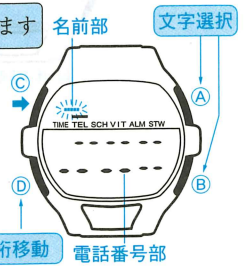
TELEPHONEデータを消去するとき
→15ページ参照
SCHEDULEデータを消去するとき
→17ページ参照

FULL

(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを約１秒間押します

11ページ「名前部の入力」を参照して名前を、13ページ「番号部の入力」を参照して電話番号を入力します。



(3) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、入力したデータを表示します。

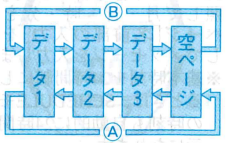
※名前を６文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。
※続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返し行ないます。
※入力したデータは名前順に並び替えられます。

■データの呼び出し

ⒶまたはⒷボタンを押します



※Ⓑボタンを押すごとに名前順に進み、Ⓐボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



※データを３本入力しているとき

■データの修正

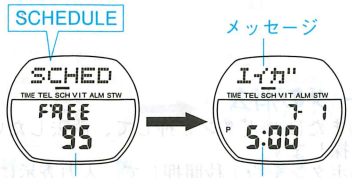
(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを約１秒間押して、入力表示にします。
(3) 修正したい部分までⒹボタンを押して点滅を送り、文字（数字）を修正します。
(4) 修正後、Ⓒボタンを押します。

■データの消去

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを約１秒間押して、入力表示にします。
(3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
※確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

SCHEDULEモードの使い方

Ⓓボタンを押してSCHEDULEモードにします。
SCHEDULEモードに切り替えると、残りメモリー数を表示後、現在時刻に一番近い未来のスケジュールが表示されます。



※“SCHEDULE”がスクロール中にⒶ・Ⓑ・Ⓒボタンのいずれかを押すと、すぐにメッセージと日時を表示します。

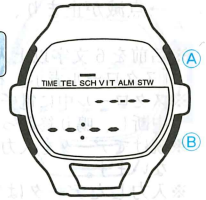
■SCHEDULEモードとは

メッセージ（スケジュール）とその日時を同時に記憶し、セットした日時になると電子音とメッセージで知らせてくれる機能です。
※電子音は20秒間、メッセージはスクロール表示で25秒間行なわれます。
本機は、メッセージ11文字と日時を100件*まで記憶できます。
＊記憶件数は「TELEPHONEモード」のデータと合わせて最大100件となります。
（例えば「TELEPHONEモード」でデータを30件記憶しているときは、SCHEDULEのデータは最大70件まで記憶できます）
また、データを入力すると、日時の順に並び替わります。

■データ入力

(1) 空ページを探す

ⒷまたはⒶボタンを押します



※空ページがないときは、メッセージ部に“ＦＵＬＬ”と表示されます。これ以上記憶できませんので不要なデータを消してから、データ入力を行なってください。

TELEPHONEデータを消去するとき
→15ページ参照
SCHEDULEデータを消去するとき
→17ページ参照

(2) 入力表示にする

Ⓒボタンを約１秒間押します



13ページ「番号部の入力」を参照して月・日・時・分を、11ページ「名前部の入力」を参照してメッセージを入力します。
※基本時刻を24時間制にしているときは、SCHEDULEモードの時刻も自動的に24時間制表示になります。

(3) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

※メッセージを６文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。
※続けてデータを入力したいときは、(1)～(3)を繰り返し行ないます。
※入力したデータは現在時刻に一番近い未来のデータを先頭に、日時（月・日・時・分）の順に並び替えられます。

・スケジュールをセットできるのは、現在日から１年間です。（今日が6月30日のとき、翌年の6月29日までセットできます。）
・「月」または「日」のいずれかを入力していない（“－”のまま）と、そのスケジュールは記憶されません。

■データの確認（呼び出し）

ⒶまたはⒷボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとに日時順に進み、Ⓐボタンを押すごとに逆方向に戻ります。いずれも押し続けると早く進みます。



■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときにいずれかのボタンを押すと止まります。
※電子音は止まりますが、メッセージは25秒間表示し続けます。
もう一度いずれかのボタンを押すと、メッセージが消えます。

■データの修正

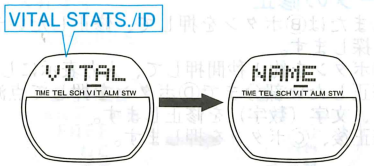
(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを約１秒間押して、入力表示にします。
(3) 修正したい部分までⒹボタンを押して点滅を送り、文字（数字）を修正します。
(4) 修正後、Ⓒボタンを押します。

■データの消去

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを約１秒間押して、入力表示にします。
(3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
※確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

Vital stats./IDモードの使い方

Ⓓボタンを押してVital stats./IDモードにします。
Vital stats./IDモードに切り替えると、“NAME”を表示します。



※"VITAL STATS./ID”がスクロール中にⒶ・Ⓑ・Ⓒボタンのいずれかを押すと、すぐに名前を表示します。

■Vital stats./IDモードとは

自分の名前、血液型、誕生日、クレジットカード、免許証、パスポート、フリーメモリー（２件分）を記憶できます。

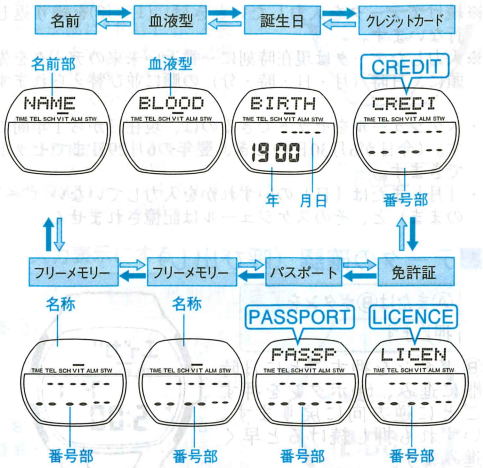
入力文字（数）名　前……16文字
血液型……ＲＨ式／ＡＢＯ式
誕生日……生年月日
クレジットカード、免許証、パスポート、フリーメモリー
……名称８文字、数字部12桁

〈ご注意〉
★Vital stats./IDモードには、自分のデータのみを入れてください。他人のデータを入れたり、自分のデータを入れた時計を他人に貸したりしないようにしてください。

■各データの呼び出し

Ⓑボタンを押します

→Ⓑボタンを押すごとに ➡ の順に、Ⓐボタンを押すと ➡ の順に表示が切り替わります。
※いずれも押し続けると早く進みます。



■データ入力

(1)データを選ぶ

ⒷまたはⒶボタンを押します

→入力したい箇所を選びます。

(2)入力表示にする

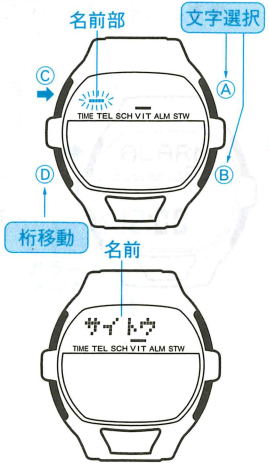
Ⓒボタンを約１秒間押します

→名前部が点滅します。

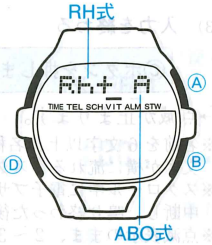
11ページ「名前部の入力」を参照して名前を入力します。
※入力表示のとき、Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押すと、入力したデータが消されます。

●“NAME”は名前を入力します。





●“BLOOD”はRH式の＋／－を、ABO式のA／B／AB／Oのいずれかを入力します。
※RH式とABO式の入力はⒹボタンを押して切り替えます。
※RH式は、Ⓑボタンを押すごとにRH+→RH-→“－”→RH+…と表示され、Ⓐボタンを押すと逆の順に表示されます。
※ABO式は、Ⓑボタンを押すごとにA→B→O→AB→“－－”→A…と表示され、Ⓐボタンを押すと逆の順に表示されます。
※RH式とABO式の両方のデータが入っていないと、メモリーされません。



●“BIRTH”は年・月・日を入力します。
※年・月・日の入力はⒹボタンを押して切り替えます。
※年は西暦年で1900年～2039年まで選べます。



●“CREDIT”、“LICENCE”、“PASSPORT”、フリーメモリーは名称と番号を入力します。
※名称を入力したあとは、Ⓓボタンを何回か押して番号部を点滅させ、入力します。



(3) 入力を終わる

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まります。

※名前を6文字以上、名称を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

※スクロール中に電子ブザーが鳴ると、スクロールを一時中断し、鳴り終わった後続けてスクロールします。

※点滅表示のまま、2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■データの修正

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、修正したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
(3) 修正したい部分までⒹボタンを押して点滅を送り、文字（符号）を修正します。
(4) 修正後、Ⓒボタンを押します。

■データの消去

(1) ⒶまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを探します。
(2) Ⓒボタンを約1秒間押して、入力表示にします。
(3) Ⓐ・Ⓑボタンを同時に押します。
※確認音が鳴り、データが消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去後、Ⓒボタンを押します。

アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

準備：Ⓓボタンを押してアラームモードにします。

(1) Ⓒボタンを約1秒間押します

→「時」が点滅します。
※このときアラームマーク（🔔）が点灯します。



(2) ⒷまたはⒶボタンを押します

→Ⓑボタンを押すと「時」が進みⒶボタンを押すと戻りますので、セットしたい時刻を表示させます。

※押し続けると早く進みます。



★「時」のセットのとき午前／午後（P）にご注意ください。
★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) Ⓓボタンを押します

→「分」が点滅します。

「分」も「時」と同様にⒷ・Ⓐボタンを押して数字を選びます。



※もう一度Ⓓボタンを押すと「時」が点滅します。

(4) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

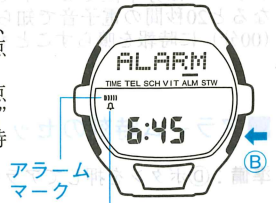
アラームモードのときにⒶボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

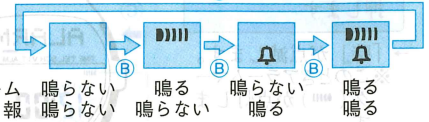


■アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：Ⓓボタンを押してアラームモードにします。

Ⓑボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯／不点灯します。
それぞれのマークが点灯しているときが“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。





※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

ストップウオッチの使い方

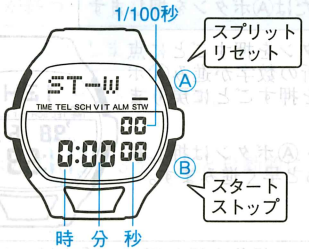
本機のストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

■計測のしかた

準備：Ⓓボタンを押してストップウオッチモードにします。

Ⓑボタンを押すごとに計測開始／終了します

※計測中にⒶボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度Ⓐボタンを押すとスプリットが解除されます。
*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



●通常計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓐ リセット

〈積算計測〉
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

Ⓑ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓑ ストップ → Ⓐ リセット



●1・2着同時計測

Ⓑ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着ﾀｲﾑ表示） → Ⓑ 2着ゴール → Ⓐ 2着ﾀｲﾑ表示 → Ⓐ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ／進みの調整

時刻・カレンダーモードのとき

Ⓐボタンと Ⓑボタンを同時に押します



→秒が「00」秒からスタートします。

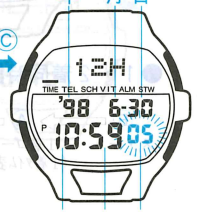
00秒になる

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
（時報は「時報サービス電話117番」が便利です）

●「時刻・カレンダー」合わせ

(1) 時刻・カレンダーモードのとき

Ⓒボタンを約1秒間押します



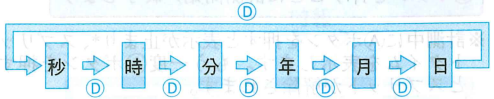
→「秒」が点滅します。
※秒が点滅しているときにⒷボタンを押すと、秒合わせができます。

(2) 時刻・カレンダーを合わせます

a. Ⓓボタンを押します



→点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンを押してセットしたい箇所を選びます。
※Ⓓボタンを押し続けると早送りができます。



b. ⒷまたはⒶボタンを押します



→Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みⒶボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓑ・Ⓐボタンは押し続けると早く進みます。

上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

★「年」は西暦で1995～2039年の範囲内でセットできます。

★「12／24時間制切り替え」は、表示が点滅しているときにⓁボタンを押します。押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。
なお、SCHEDULEモードとアラームモードの時刻もここで選んだ時制で表示されます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(3) セットが終わりましたら、

Ⓒボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

備忘録

万一に備え、メモリーしてあるデータをこの備忘録にメモしておくことをおすすめします。
※足りない場合はコピーしてお使いください。

name	TEL

name	TEL

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表 示 方 式：FE型液晶デジタル表示
基 本 機 能：年・月・日・曜日、時・分・秒、午前／午後P／24時間制表示(24)、フルオートカレンダー(1995～2039年)
TELEPHONE機能：名前（８文字）と電話番号（12桁）を最大100件*までメモリー
自動ソート機能、残りメモリー数表示
SCHEDULE機能：メッセージ（11文字）と月・日・時・分を最大100件*までメモリー
自動ソート、残りメモリー数表示
注＊メモリー数はTELEPHONEデータとSCHEDULEデータを合わせて最大100件までです。
Vital stats./ID機能：名前（16文字）、血液型（RH式／ABO式）、誕生日（生年月日）、クレジットカード（名称8文字、番号12桁）、免許証（名称8文字、番号12桁）、パスポート（名称8文字、番号12桁）、フリーメモリー（名称8文字、番号12桁）を２件
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に電子音で報時
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、１・２着同時計測
そ の 他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、デモ表示、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト点灯
オートEL、耐低温仕様（－20℃）
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使 用 電 池：CR-2016（電池別途販売）
電 池 寿 命：約1.5年
（電子音20秒間／日、ライト３秒間（ボタン押し１回：1.5秒＋オートライト１回：1.5秒）／日使用した場合）

●ただし、使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
・上記条件に加えて、
１日あたり、ボタン押し5回＋オートライト1回使用のとき
…約1.1年
ボタン押し10回＋オートライト1回使用のとき
…約0.8年

ご使用上の注意

■防　水　性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バ　ン　ド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温　　度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

●低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。

●低温下でアラームを使用すると表示が見にくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

■ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁　　気

●磁気の影響はありません。

■薬　品　類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保　　管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保障期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として、BATTERYマークが点滅し、「時計の狂いが目立ったり」、「表示が見にくくなったり」、「消えたり」することがあります。また、このときデータの呼び出し、データ入力などの操作を行なうと、“BATT.！”が表示されます。このときは速やかに電池交換を行なってください。



（例：TELEPHONEモードのとき）

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

●電池の消耗時期が近づくと…

・メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくなるなど、以下の現象が現われます。

〈TELEPHONE、SCHEDULE、Vital stats./IDモードのとき〉

データ呼び出し、入力などの操作はできません。（ボタン操作をしても、“BATT.！”を１～２秒間表示し、空ページ表示または“FULL”表示となります）なお、データ入力途中に電池が消耗すると、そのとき入力していたデータは記憶されません。

〈その他〉

アラーム・時報・操作確認音の報音、ライト点灯も行ないません。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

お客様へ

電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ

本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は

電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換前のご注意

裏蓋を開けたときに、万一、液晶部に“CLOSE”と表示されているときは、電池を抜き取らず、裏蓋を閉じ、しばらくしてからあらためて裏蓋を開けるところから行なってください。なお、“CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データ内容が変化したり消えてしまうことがありますのでご注意ください。

※表示が消えているときは問題ありません。

●電池交換後のご注意

電池交換後、裏蓋を閉める前に、必ず、オールクリアー（AC）操作を行なってください。

●電池交換のご注意

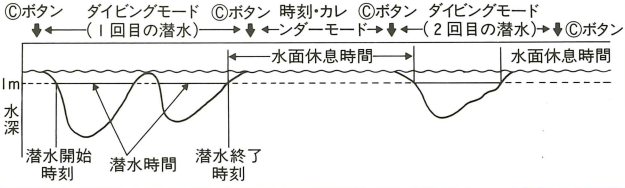
裏蓋を閉めたあと、約15秒経過しても表示が正常に戻らないときは、もう１度裏蓋を開け、オールクリアー（AC）操作を行ってください。

オールクリアー操作を行なうと、内部のデータをチェックするために“WAIT”と表示されます。入力されているデータ数により、最大数分間かかることがあります。なお、“WAIT”表示のときに時刻合わせ以外の操作はできませんのでご注意ください。内部でのデータのチェックが終わると、正常に使用できます。



ELパネル（表示照明部）の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

計測の流れ



ご使用上の注意

●注意マーク（！）が点灯しているとき

計測中に何らかの異常を検出したことを意味します。このときのログデータは誤差が大きいと思われますので、潜水計画等に使用しないでください。

●BATTERYが点灯しているとき

電池の消耗時期であることを意味します。潜水での使用を中止し、カシオサービスセンターに電池交換をお申し付けください。

●SENSOR ERRORが点灯しているとき

過度の衝撃などにより、センサー故障または接触不良が起こったことを意味します。カシオサービスセンターへ修理を依頼してください。

●水面（水深1.0m以浅）に戻っても潜水状態のままのとき

Ⓐボタン、Ⓒボタンを同時に約１秒間押すと、「0mリセット」となり、潜水を強制終了できます。また、高圧室内や極低温などの異常環境下では、ⒶⒷⒸⓁすべてのボタンを同時に約２秒間押し続けると時刻・カレンダーモードに戻ります。

安全上のご注意

⚠ 危険

必ず安全潜水に関する特別な教育を受けてからご使用ください。
本機は潜水の同伴者（バディ）の代用にはなりません。潜水の際は必ずバディシステムをお守りください。
本機は減圧計算を行なう「ダイビングコンピュータ」ではありません。あくまでも補助の水深計（バックアップ用水深計）としてご使用ください。
飽和潜水などによるヘリウム雰囲気中で、本機を使用しないでください。
電池が消耗しているとき（電池切れ予告表示となっているとき）は、電池交換を行なってから使用してください。

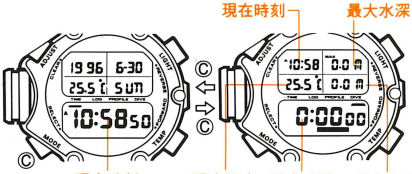
ダイビングでの操作

(1) ダイビングモードへの切り替え

Ⓒボタンを約２秒間
押し続けます。

(2) 潜水開始

潜水を開始し水深1.0mを検知すると「潜水開始」とみなし、水深などのログデータのメモリーを開始します。



●潜水中は

現在時刻、潜水時間、現在水深、現在水温、最大水深を表示します。

Ⓐボタンを押すと、潜水開始時刻を表示します。

●有効潜水と無効潜水

水深1.0m以深を３分以上連続して検知すると「有効潜水」としログデータをメモリーします。

３分未満のときは「無効潜水」となり、データはメモリーされません。

●潜水プロフィール機能

最新の潜水における潜水中１分ごとの最大水深値をメモリーします。
潜水終了後、潜水プロフィールモードで見ることができます。
※最大60本（１時間分）までメモリーできます。

(3) 潜水終了（時刻・カレンダーモードへの切り替え）

水深1.0mに浮上してから、Ⓒボタンを約２秒間押し続けます。
モード切り替え後、水面休息時間の計測を開始します。

用語説明

潜水時間
水深1.0m以深での経過時間

潜水開始時刻
ダイビングモードに切替後、最初に水深1.0mを検知したときの時刻

潜水終了時刻
潜水終了*直前最後に水深1.0m以深から1.0m以浅を検知したときの時刻
*ダイビングモードから時刻・カレンダーモードに切り替えるとき

水面休息時間
潜水終了時刻からの経過時間

現在水深
現在の水深計測値
（水深は３秒おきに計測）

最大水深
１回の潜水での最も深い水深値

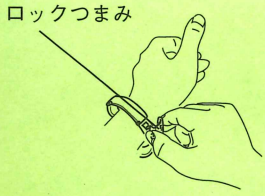
平均水深
１回の潜水での水深値の平均

水底水温
最大水深を計測したときの水温

バンドの使い方～皮バンドタイプ～（機種により形状は異なります）

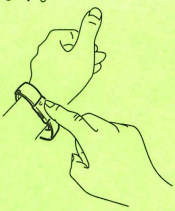
●バンドの外し方

ロックつまみを両側からおさえるようにして引き起こします。



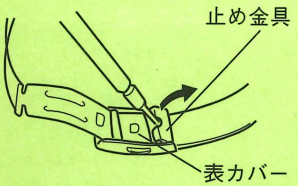
●バンドの付け方

二つ折れ部を折り曲げます。
※しっかり折り曲げるとカチッと音がします。

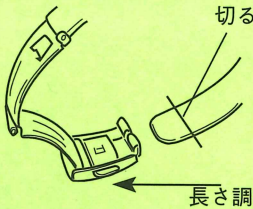


●バンドの長さ調整

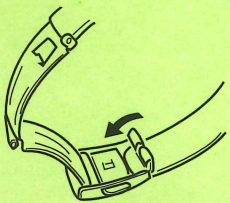
(1) 先の細い棒などで表カバー裏面の止め金具を開き、バンドを抜きます。



(2) 手首の長さに合わせてバンドを切ります。



(3) 調整が終わりましたら、止め金具を閉じてバンドを固定させます。



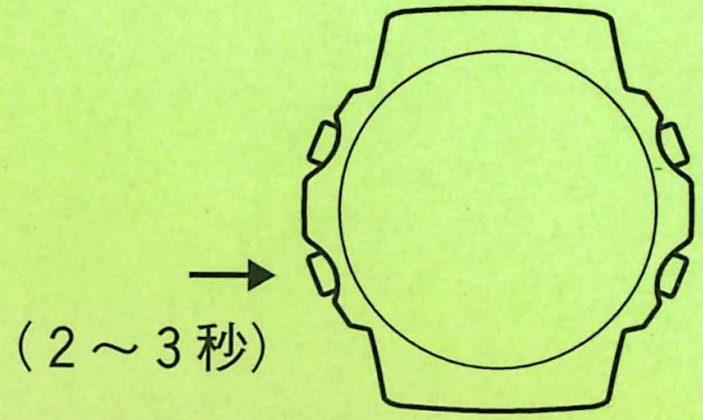
〈ご注意〉
- 止め金具を開けるときは、ドライバー等のかたいものをご使用ください。
  爪などで開けると、ケガをすることがあります。
- バンド切断の際は、ケガにご注意ください。
- バンドの切りすぎにご注意ください。

デモ（デモンストレーション）機能について

この時計は、工場出荷時に「**デモ（デモンストレーション）機能***」に設定されています。
（デモ機能中はモード切替等の操作はできません）

*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

ご購入時に「デモ機能」の表示となっているときは、左下のボタンを（表示が止まり、確認音が鳴るまで）約２～３秒間押し続けて「デモ機能」を解除してください。



（機種により形状は異なります）